

道徳学習指導案

活動場所 北校舎2階 1年2組教室
生徒数 1年2組 男子15名 計31名
女子16名
指導者 教諭 松山琴美

- 1 主題名 友情を深める
- 2 資料名 「いつも一緒に」(文部省読み物資料2：一部削除)
- 3 学習指導要領との関連

内容2 主として他の人とのかかわりに関すること

- (3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

4 主題設定の理由

現代社会では物質的な豊かさを得られたが、その反面、人間としての思いやりや他人を尊重する心が失われつつある。また、核家族化・少子化の影響で、社会性が薄れ、人間関係の希薄化も問題となって久しい。このような希薄な人間関係の中においては、心から信頼できる友達を得たり、真の友情を深めていくのは困難になりつつある。

真の友情は、お互いの気持ちが通じ合い、信頼で支え合うことによって成り立つ。そして、相手の人間的な成長を願い、励まし合い、高め合い、協力を惜しまない関係が必要になってくる。中学生の時期は、心を許しあえる友達を求め、自分の良き理解者になってくれるように望むものである。しかし、ときに相手の意見に無批判に同調したり、自分が傷つくことを恐れるあまり、最初から一定の距離をとった関係を保てないものも出てくる。また、ものの見方、考え方に一人一人の違いが表れてくるとともに個性がはっきりしてくるため、自分の考え方や立場に固執する傾向が強くなり、友達間に意見の対立や摩擦が生じることも少なくない。

そこで、本主題においては、生徒にこれまでの友達関係について振り返させながら、心から信頼できる友達をもつことが必要であることを理解させたい。そのことで、深い友情を育てていこうとする心情を高めさせることをねらいとする。このような学習を通して、身に付けた見方・感じ方・考え方は、生徒相互の人的成長や、学級での豊かな人間関係づくりに生かされるであろうと考える。

5 資料分析

本資料は、小さな嫉妬から友人との信頼関係を壊してしまった主人公が、友情の大切さに思い至るまでの主人公の心の動きを追ったものである。友人との信頼関係を崩す些細なきっかけや、周囲を巻き込んでのいじめに発展する可能性など、生徒が実生活の中で経験するような場面が描かれている。登場人物を自分に重ね合わせながら考えさせることができる資料である。

【あらすじ】	【真理子の心情】	【価値】
真理子とみゆきは親友だったが、みゆきがレギュラーに選ばれたことで真理子は落ち着かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● イライラしてくる ● 嫉妬 	信頼・友情 人間の弱さの克服
宿題を見せて欲しいとしばしば頼むみゆきの態度に、思わずかつとなる。	● 見せるのが当然という態度が気に入らない。	信頼・友情 思いやり 広い心
恵子や由里の誘いによって、みゆきを見無視し始める。	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなが自分の味方するので悪い気はしない ● 面白いゲームでも始めるような感じ ○ 何かが真理子の心に訴えている 	公正・公平 信頼・友情 役割と責任
みゆきが真理子に見無視の理由を問う。	<ul style="list-style-type: none"> ● みゆきとは友達じゃない ○ 何と云ってよいか分からない 	信頼・友情 公正・公平 役割と責任
恵子の友人評を聞いて、もう一度みゆきとやり直したいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ つらい ○ 本当の友達としてもう一度やり直したい ○ 許してくれなかったらと思う 	信頼・友情 自他の尊重

と怖い

○ 恵子から責められる

6 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく素直であるが、授業中に積極的に手を挙げる生徒がやや少なくおとなしい印象がある。中学校に入学して半年が経ち、クラスメートにもだいたい馴染んでいるものの、その慣れから冗談半分で仲間を傷つけるような言動をとってしまい、トラブルが生じることもある。また、互いに信頼できる深い友人関係を築けている生徒が少ない。

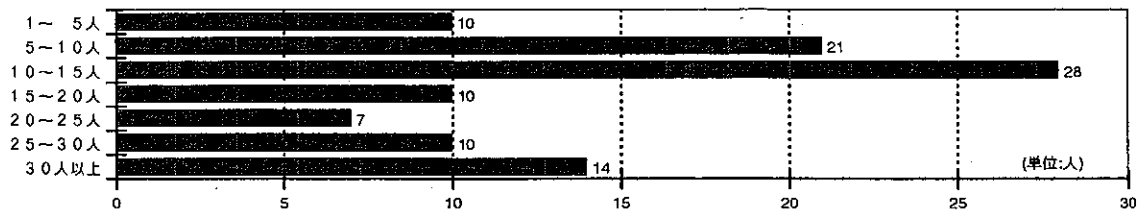
友情について具体的にどのように考えているのか、事前にアンケートを実施した。

アンケート結果 [調査日：平成18年9月13日(水) 回答者数29名]

① あなたには、よく話をしたり、遊んだりする友達がありますか。

いる【29人】・いない【0人】

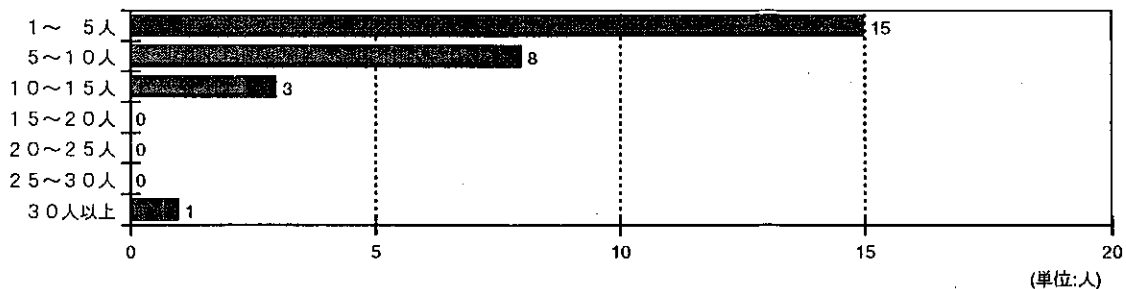
② ①の質問で、いると答えた人は何人くらいいますか。



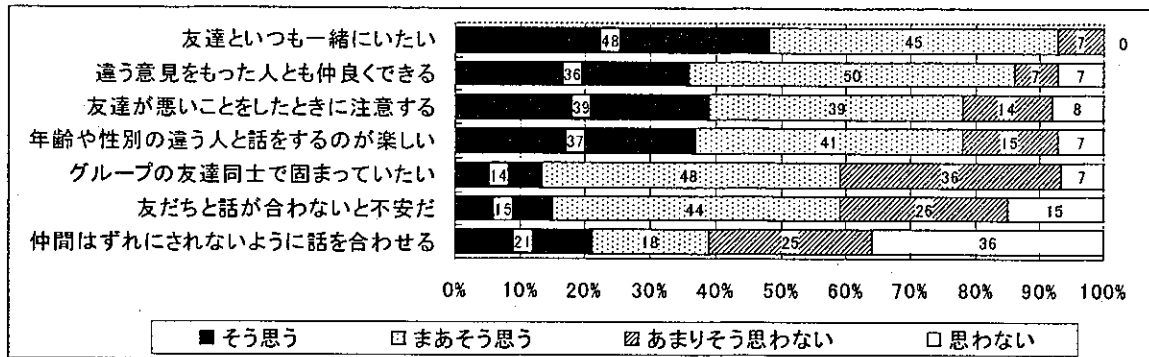
③ あなたには悩み事を相談できる友達がありますか。

いる【27人】・いない【2人】

④ ③の質問で、いると答えた人は何人くらいいますか。



5 あなたが思う「友達関係」とはどのようなものですか。



6 友人関係で気まづくなった経験があれば教えてください。(きっかけ/その時の気持ち)

- 仲間外れにされた。/嫌だった。
- 友達が一人の友達をからかって仲間外れにした。/自分是从からかっているのに、一緒にいたので嫌だった。
- この人はいい人だと思っていた友達が、人の悪口をいっぱい言っていたのを聞いた。/悪口を言う人のグループに入りたくない。
- 意見の食い違いで言い争いになった。/なんでそんなことを言われぬといけぬのと思ひ、むかついた。
- 陰で悪口を言われた。/早く仲直りして一緒に遊びたい。
- 冗談で言ってしまったことに相手が怒った。/こっちまでむかついた。

7 あなたにとって本当の友達とはどんな友達ですか。自由に答えてください。(複数回答)

- 相談できる人【7人】
- 話し相手になってくれる人【5人】
- 信頼できる人【4人】
- 意見が同じ人【1人】
- 一緒にいて楽しい友達【4人】
- 自分のことを理解してくれる人【3人】
- 相手を大切に思ってくれる人【2人】
- 無回答【3人】

8 真の友情を築くために大切なことは何だと思ひますか。自由に答えてください。(複数回答)

- 相手のことをよく考えること【7人】
- なんでも話せること【7人】
- 注意し合える関係【4人】
- 思いやり【4人】
- 気まづくなっても仲直りできること【4人】
- 助け合うこと【2人】

1によると、生徒全員が「友達がいる」と答えており、人数も多い。しかし、3では、悩み事を相談できる友達がほとんどの生徒がいると答えているが、一方でいないと答えている生徒が二人いる。また、悩み事を相談できる友達の人数が多い生徒もおり、表面的な付き合いでの友人関係はあるものの、深い友人関係まではなかなか築けていないと考える。真の友情について深く考えさせることが大切である。5によれば、「違う意見を持った人とも仲良くできる」や「年齢や性別が違う人と話をするのが楽しい」と思ひ生徒が多い反面、「仲間

はずれにされないように話を合わせる」という実態があることがうかがえた。ここでも友達と、表面的に付き合っている生徒がいることがうかがえる。「友達が悪いことをしたときに注意する」という生徒が多く、こうした心情を大切にしながら、真の友情について考えさせたい。⑥から、多くの生徒が友達関係で仲間外れになったり、けんかをした経験をしてきている。気まづくなった理由としては、冗談や意見の違い、悪口などが挙げられている。生徒たち自身は、仲間外れにされないよう友達に合わせたいという気持ちが、真の友情を築くための実践を阻んでいることを意識させる必要がある。⑦や⑧では、本当の友達とはどのようなものか、真の友情を築くためにはどんなことに気を付けていけばよいかという心構えが挙げられている。本当の友達とは相談できる人や話せる人というものが多く、真の友情を築くためには、相手のことをよく考えるという考えが挙げられている。もっと子どもたちに、相手の気持ちを理解し、お互いに励まし合い、忠告しあえる信頼関係について考えさせていきたい。

7 本時の実際

(1) 本時の目標

心から信頼できる友達をもつことの大切さを理解し、友情を育てていこうとする心情を高める。

(2) 授業設計の視点

ア 役割演技による役割取得の充実

本授業では、ミニドラマの制作と役割演技を導入した。具体的には、体育館に向かった後の真理子とみゆきの会話を考えさせるものである。ミニドラマの中に、生徒の本音や道徳性が表現されることで、自分の考えを整理したり、見つめ直したりする契機になるものと考えた。

イ 生徒の感性に訴え、道徳的心情を高める終末の工夫

生徒の感性に訴える道徳資料は、主題に対する道徳的実践力をより高める効果があるものとする。本授業では、絵本の読み聞かせを行うことによって終末に余韻を残し、生徒の感性に直接訴え、道徳的心情を高めることを意図した。

(3) 授業の展開

過程	時間	学習活動	主な発問	支援上の留意点と準備
導入 意識化	5	1. 事前のアンケートの結果を見る。	○ アンケートを見て感じることはどんなことですか。	● 友達と気まづくなった経験を提示し、その時の気持ちを思い出させる。 TP1 (アンケート調査)

展 求 開 深 化	焦点化	8	2. 資料を読み、登場人物と概略を確認する。	○ 登場人物の行為や心情の大事な部分に線を引きながら読みましょう。	● 主人公の心情に (—) 他の人物の心情に (~~) 区別できるように線を引きさせる。 朗読CD
	追	7	3. 場面ごとの真理子の心情をとらえる。	○ 「私にあんたの宿題係じゃないんだよ。」と言った真理子はどんな気持ちだったと思いますか。 ○ 真理子は、「みゆきとは喋らないことにする。」と言った後、どんな気持ちになったのでしょうか。	● 真理子の不満や嫉妬心を読み取らせる。 ● みゆきの姿が真理子の目にどのように映っていたのかを考えさせる。 ワークシート
	・	14	4. ミニドラマを作り、役割演技を行う。	○ ①今までのことを後悔している真理子は、この後体育館でみゆきとどのような会話をすると思いますか。 ○ ②恵子から約束を破ったことを責められたとき、真理子は恵子に何と言いますか。	● 真理子がみゆきに話しかけるところから考えさせる。 ● 会話をOHPシートに記入させる。 ● 数組のグループにミニドラマを発表させる。 TP2 (生徒の制作したミニドラマ)
	化				【視点ア】 役割演技による役割獲得の充実
	自覚化	5	5. 友情とはどんなものか考える。	○ もう一度アンケート結果を見ましょう。友情を築く上で大切なことは何だと思いますか。	● 相手の気持ちを理解し合おうとする信頼関係によって真の友情が深まることを理解させる。
		5	6. 絵本「ともだち」を読む。		絵本・プロジェクト

終 末	意 欲 化	3	7. 道徳ノートに記入する。	○ 授業を通して感じたことや友情について思ったことを、「心の足跡」にまとめましょう。	【視点イ】 生徒の感性に訴え、道徳的心情を高める道徳資料の活用
		3	8. 教師の話聞く。		● 「親友とはかくあるべき」という教師の一方的な押し付けにならないよう留意する。

(4) 評価

心から信頼できる友達をもつことの大切さを理解し、友情を育てていこうとする心情を高めることができたか。